



就任の御挨拶

この度、2014年7月1日付けをもちまして佐瀬前専務理事の後を引き継ぎ専務理事に就任することとなりました。この場をお借りして、御挨拶申し上げます。

一般財団法人国際石油交流センター（JCCP）は、石油の安定供給の基盤となる産油国と我が国との密接な友好関係の増進を図ることを目的に1981年に設立され、これまでに22,000人を超える研修生を受け入れてきました。その中からは産油国国営石油会社の上級幹部等も生まれてきております。研修や技術協力を通じた人的ネットワーク作りという地道な活動を積み重ねてこられた歴代関係者のご努力に敬意を表しますと共に、新たな取り組みに向けた責任の重さを痛感しています。

平成23年3月に発生した東日本大震災を経て、石油は今後とも我が国エネルギーの中核を担うものとしての重要性が再認識され、その確保は日本の安定にとって重要な課題の一つになっています。またシェールガス・石油革命など、世界のエネルギー情勢は大きな変化を遂げようとしています。中東をはじめ世界の各地においてエネルギーに関する地政学的リスクが高まると同時に、新興国はその経済発展のために石油資源獲得に大変な力を注ぎ、産油国の資源ナショナリズムの動きも継続しているなど、国際情勢は一層厳しさを増しています。

こうした中、変化する産油国の多様なニーズの的確な把握とそれに対応した研修・技術協力の提供が、これまで以上にJCCPに求められていると思われれます。すなわち、従来の精製技術に関する協力に加え、環境・省エネ・高付加価値化等の問題への協力が期待されています。この為にはこうしたニーズに応える我が国石油関連企業やエンジニアリング企業、さらには公的セクター等、幅広い関係者の経験とノウハウを生かした連携が欠かせません。私自身、公的セクターに加えて、近年民間企業（富士重工業）に在籍した経験を活かし、こうした連携強化に努め、我が国の強味が十分に発揮され且つ産油国からもさらに高く評価される事業展開を図っていきたいと考えております。

当センターの今後の活動に対し、関係各位の従来に変わらぬ御支援・御指導を心からお願い申し上げます。就任の御挨拶と致します。JCCPについてお気づきの点や御意見がありましたら、何なりとお伝え頂ければ幸いです。

皆様の御健勝をお祈りしつつ

2014年7月

一般財団法人国際石油交流センター
専務理事 中井 毅